

【議事録】

審議会等名	令和元年度つくばみらい市健康づくり推進協議会
開催日	令和元年9月10日（火曜日）
開催場所	つくばみらい市役所 伊奈庁舎2階 会議室1
出席者	<p>〔出席者〕 11名</p> <p>小田川 浩 会長（つくばみらい市長） 今川 英明 委員（議会代表） 福田 敏男 委員（教育委員会教育長） 磯部 剛志 委員（医師会代表） 松本 敦 委員（歯科医師会代表） 片見 礼子 委員（食生活改善推進協議会代表） 入江ふじこ 委員（つくば保健所長） 秋田 政夫 委員（体育協会代表） 飯塚 伸泰 委員（学識経験者） 染谷 武 委員（産業経済課長） 飯泉 勝宏 委員（保健福祉部長）</p> <p>〔欠席者〕 2名</p> <p>高木 寛房 委員（国保運営協議会代表） 松本 譲二 委員（区長会代表）</p> <p>〔事務局〕 健康増進課 8名</p> <p>小菅課長，関口課長補佐，石島主査，村上主査 水野主査，加瀬係長，新関係長，野口主査</p>
議案	<p>(1) 平成30年度保健事業実績について</p> <p>(2) 令和元年度保健事業実施状況について</p> <p>(3) 第3次つくばみらい市健康増進・食育推進計画のアンケートについて</p>
会議資料	<p>資料1 健康増進計画の実績報告（H28～30）</p> <p>資料2 食育推進計画の実績報告（H28～30）</p> <p>資料3 第3次つくばみらい市健康増進・食育推進計画の策定について</p> <p>資料4 第3次つくばみらい市健康増進・食育推進計画策定業務スケジュール</p> <p>「健康づくり・食育」に関するアンケート調査</p> <p>「食育」に関するアンケート調査（年長児保護者用）</p> <p>「食育」に関するアンケート調査（小学2年生保護者用）</p> <p>「食育」に関するアンケート調査（小学5年生保護者用）</p> <p>「食育」に関するアンケート調査（中学2年生用）</p> <p>チラシ：元気アップ！りいばらき・スポットビジョンスクリーナー</p>

議 事 概 要

- ・開会 午後1時30分
- ・委嘱状交付
- ・会長あいさつ
- ・議案

- (1) 平成30年度保健事業実績について
- (2) 令和元年度保健事業実施状況について

<事務局より資料1・資料2・チラシに基づいて説明>

- 委 員～元気アップ！リいばらきの周知について伺いたい。
- 事務局～広報紙に掲載をした。現在108名の市民の方がアプリをダウンロードしている。回覧を利用すると関心をもってもらえるのではと思う。
- 委 員～資料1の基本健康診査と特定健康診査について伺いたい。
- 事務局～基本健康診査は、市民の方で18歳以上39歳以下の方が対象となります。特定健康診査は、市の国民健康保険に加入している40歳以上74歳以下の方が対象となります。後期高齢者の健康診査は、75歳以上の方が対象となっています。
- 委 員～糖尿病重症化予防事業について伺いたい。
- 事務局～当市は国保年金課で行っています。
- 委 員～健診自体は健康増進課で実施をして、特定健康診査も保健指導も国保年金課で行っているのか。
- 事務局～実施方法が集団健診として、みらい健診①とみらい健診②があるが、健康増進課と国保年金課のスタッフが共同で実施をしています。集団健診に参加された数値を掲載しています。人間ドックを受けている方は国保年金課で把握をしています。
- 委 員～市内の小中学校でのたばこ対策について伺いたい。
- 委 員～中学校では保健授業で取り上げています。小学校では薬物乱用防止教育の中で全部ではないが、取り上げているところが増えてきています。
- 委 員～市町村によっては医師会や歯科医師会の先生が小中学校で講演をしてくださる場合がありますがつくばみらい市ではいかがか。
- 委 員～当市ではライオンズクラブにお世話になっているところもあります。その他県から来ていただいているところもあります。
- 委 員～スポットビジョンスクリーナーについて、3歳児健診の対

	<p>象者全員に使用しているのか伺いたい。</p> <p>○事務局～3歳児健診の対象者全員に使用をしています。</p> <p>○委員～1歳半での導入は考えているのか伺いたい。</p> <p>○事務局～当面は3歳児健診の対象者が円滑に流れるようにと考えています。</p> <p>○委員～見つかった場合の事後処理について伺いたい。</p> <p>○事務局～要再検となった場合は、その日のうちにできる限り視能訓練士の視力検査で対応しています。その結果で眼科への受診を勧めています。この3か月で再検査が必要ということで、視能訓練士の視力検査をして、その後眼科で受診をして弱視ということで治療を始めるといったケースがありましたので、スポットビジョンクリーナーを導入してよかったですと思います。</p> <p>○委員～健康啓発事業への参加者が年々減少しています。資料には健康フェスタを廃止して、市民健康ひろばの開催を増やすとあるが、そのような対応をすると増加となるのか伺いたい。また、食に関する事業への参加者も減少しています。各事業のPRを一本化してとありますが、参加者が多くなるような方策を考えていければ伺いたい。</p> <p>○事務局～健康フェスタと市民健康ひろばの対象者が重複しているのが現状です。そこで市民健康ひろばにおいて、体験型と講演会を実施して、色々な年齢層に合わせて内容を変えてみたほうが延べ人数より実人数が伸びるのではないかと思いい対策をさせていただきました。</p> <p>○事務局～食に関する事業について、平成28年度・平成29年度は健康食の試食ということで実施をしました。平成30年度は趣向を変えて親子のクッキング教室ということで実施方法が変わりました。事業については市民の参加を得られるような内容を毎年考えているところです。</p> <p>○委員～保育所給食年間指導計画について伺いたい。</p> <p>○事務局～資料掲載の数値については公立の施設です。第3次計画策定においては私立の施設も増えましたので計画の中に入れていく必要があると思います。</p> <p>○委員～私立の保育施設は市が直接監督していないと思う。例えば食物アレルギーや感染症にしても県が設置の許可をして市が介入していないのでは思われる。私立の施設が増えてきているので、その辺のクオリティも維持するような対策が必要と考えます。更に企業主導型等の様々なクオリティについても日本小児科学会でも心配しているので、保育施設の設置場所やクオリティの内容についても監督が必要では</p>
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

ないかと思えます。

○事務局～保育施設についてはこども課となります。

○会 長～意見があったことを部長からこども課に伝えていただきたい。

○委 員～資料1の運動習慣について、総合型地域スポーツクラブの数値が年々減少となっているが、これは平成18年に文科省の要請で当時体育協会と市のスポーツ指導員が一体となって設立したクラブです。幼児から高齢者まで幅広く色々なスポーツに取り組んで健康に結びつけられるように全国展開しているものです。当時人口の1割は参加してもらいたいと取り組んできた。現在は年々横ばい状態。今後参加者を増やしていかないといけないと思うが、何か課題があつての横ばい状態なのか知りたい。また、元気アップ！リイばらきについては参加するとポイントがもらえるとあるが、龍ヶ崎市においては市独自で以前からウォーキングを行うと市がポイントを与えるということに取り組んでいます。非常に好調と伺っており、県もそうであるが、当市でも独自の試みをやれば運動に対する参加者が増えると考えます。健康志向でウォーキングを始めている方が増えてきていると思えますので、今後の課題として健康のためにポイントを与えながら参加してもらうことは非常にいいと思います。それから、当市は以前から県の統計で運動広場が最下位となっています。みらい平地区は公園があつて利用できると思うが、市全体では運動広場が最下位となっています。運動広場が身近にあれば何らかの形で運動に参加できると思うので、環境もこれからの課題として取り組んでいかなければいけないと考えます。

○委 員～健康づくり推進員や保健推進員というボランティアの組織をつくっていて、例えば健診の受診勧奨や健康づくりの普及啓発活動に市役所と協力して動いているところもありますが、つくばみらい市でもそういう組織があるのか伺いたい。

○事務局～そういった組織はありません。食生活改善推進員やがん予防推進員はあります。

○委 員～食生活改善推進員は現在何名いるのか伺いたい。

○事務局～現在38名です。

●承認

・議案

(3) 第3次つくばみらい市健康増進・食育推進計画のアンケートについて

<事務局より資料3・資料4・アンケート用紙に基づいて説明>

- 委員～男女共同参画社会の中でアンケートの中にその他の項目を入れないといけないのではと思うがいかがか。研修会の中でLGBTの方が講師となっており、男女共同参画で当市のアンケートを見ているとの話もありましたので検討していただきたい。
- 事務局～検討をします。
- 委員～アンケート調査の対象者の抽出について伺いたい。
- 事務局～市内の小中学校の学年の保護者が対象となっています。年長児の保護者についても全数です。
- 委員～回収率はどれくらい見込んでいるのか伺いたい。
- 事務局～前は学校の回収率は高く80%台です。年長児については45.2%でした。
- 会長～年長児は公立なのか伺いたい。
- 事務局～生年月日で年長児を抽出しました。
- 委員～アンケート用紙を配布する場合に、当のみらい平は非常に若い人が多く、ある程度配布数を割り振らないと全体的に公平なアンケートが回収できないと思うがどのように考えているのか伺いたい。
- 事務局～委員の意見のとおり偏りが出るのが考えられるので、抽出をかけた後に調整をしたいと考えています。
- 委員～アンケート4ページの病気についての項目の中に骨粗しょう症を追加していただけるか伺いたい。
- 事務局～追加は可能です。
- 委員～11ページの問39の前後にかかりつけ歯科医の設問を入れていただけるか伺いたい。
- 事務局～設問の流れから考えると問39の前後に追加するのがいいと思われますので検討させていただきたいと思います。
- 会長～食育ということで、アンケートの内容についてご意見をいただきたい。
- 委員～食育のことで活動させていただいているが、広報等で周知をしているが人が集まらないのが現状です。
- 会長～事務局からも意見をいただいて食育の周知を一緒に考えていただきたいと思います。

- 委員～地産地消について、市内の農産物直売所は個人で開いているところもあると思うので、その他とか個人の直売所等の回答も入れてもらった方がいいと思うがいかがか。
- 事務局～その他で回答できるような項目を検討したいと思います。
- 委員～年長児のアンケートの内容で、働いている母親からすると食育は理解していると思われるが、そういった中で、アンケートの質問で、できる余裕があるんですか等といった、全て母親に突きつけるような質問になってしまうとかわいそうと思う。これだとやっていないあなたはダメだと思いをもちながら保護者は回答することになってしまうと思われるがいかがか。
- 委員～子供たちの方が食育の言葉を知っていますし、食育月間ということで自分の健康づくりの基になると思います。そういったことから保護者の方から問題になることはないと思います。
- 委員～父兄からは時々マナー等も学校で何とかならないのかという話もあります。また、現在では学校給食を残さずしっかりと食べなさいと言ってはダメのようです。
- 委員～スポーツ面から言うと食育はとても大切です。科学的に分析されており食育の大切さが重要と思われます。健康についても食育は大切です。人間生きていく中で食育の占める位置は非常に大切であります。ただ共働きの現状では専門的な食育の知識を得ようと思っても難しいのが現状です。その中で学校給食は栄養のバランスを考えて提供してくれることは非常にいいことと思います。健康で人間が活動するには食育は大切ということの意識づけをしていけばいいと思います。
- 委員～託児のボランティアにも活動していますが、その中で子供食堂で子供にご飯を食べさせてほしいというお母さんの意見が多くありました。また、子供食堂を増やしてほしいという意見も出ています。子供にご飯を食べさせることが当たり前ではない現状になっています。
- 委員～共働き世帯が急速に増えてきているから目立ってきていると思う。そういう方たちをサポートできる体制にして、ダメな親と思って終わってしまうことのないよう、お母さんだけに突きつけてしまっはいけないと思う。
- 委員～家族で揃って食事をすることが薄れてきていると感じます。その中でも家族で食事をすることは大切だと思います。家庭の大切さ等の意識づけを少しでもしてあげられればと思います。

	<p>○会 長～両委員が言っていることは社会的にもっともな話だと思いますので、市としては両方の側面から検討していきたいと思えます。</p> <p>○委 員～このアンケートは凄く意味のあるものと思われる。アンケートの結果等をなるべくみなさんの目に触れることで、意識を高めることができると思えます。</p> <p>○委 員～昨年の7月に健康増進法の改正案が通りました。県では市民に理解を得られるように普及啓発をしていきたいと考えています。今回の改正案の基本的な考え方として、望まない受動喫煙を無くすというところに重点をおいています。特に受動喫煙による健康影響が大きい子供さんや病気をもっている患者さんに配慮をすることで、既に官公庁や病院、学校等では禁煙になっていると思うが、事業所や飲食店ではまだ禁煙になっていないのが現状であり、その所を対策していこうと考えています。普及啓発の方法として保健所は飲食店の許認可権をもっているので食品衛生協会と協力をしたり、市町村に相談をして商工会の集まりを通じて啓発をしていきたいと考えています。市町村の保健センターの方と管内集まっていたか、個別でもいいが、市の方で協力をいただけること等を確認して啓発をしていきたいと考えています。市民の方への啓発も非常に大切なので、例えば食生活改善推進員であるとかシルバーリハビリ体操指導士等、既にボランティア活動をやっていただいている方々に、保健所や市で企画をして勉強会をさせていただいたりとか考えています。来年度にかけて健康増進計画を策定していくと思いますが、それと併せて受動喫煙防止対策にもご協力をいただければありがたいと思えますのでよろしくをお願いします。</p> <p>●承認</p> <p>・閉会 午後2時50分</p>
そ の 他	傍聴者 0人